

以下は、平成 29 年度までの方針です。



### ■卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の教育課程において厳格な成績評価のもと、卒業要件を満たし、学部が示す知識や能力等を身につけた学生に対して卒業を認め、学士の学位を授与します。

■卒業要件：4年以上（8年以内）在学し、学則に規定する卒業に必要な単位（「必修科目」を含めて124単位以上（経営学部：全学共通科目32単位以上、専門科目74単位以上、全学共通科目および専門科目より自由に選択18単位以上、発達科学部：全学共通科目32単位以上、専門科目92単位以上））を修得する。

■成績評価：評価は秀・優・良・可・不可の5段階とし、秀・優・良・可の場合に単位を認定する。

### ●経営学部

基本方針：

経営学部では、自ら考え、判断し、行動できる力、すなわち社会人として活躍できる力を身に付け、地域を元気にするために活動できる人材を育成しています。このために設置した全学共通科目と専門科目の体系的な履修を条件として、学士（経営学）を授与します。学位授与に至るまでに修得すべき資質・能力は次の通りです。

1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができること
2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組めること
3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできること
4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができること
5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できること

### ●発達科学部

小学校・特別支援学校や幼稚園・保育所で直接に子どもの教育・保育にあたるための「理論」と「実践力」を兼ね備え、子育て支援社会を支える豊かな心と創造力を身に付けた学生に卒業を認め、学士（発達科学）の学位を授与します。

## ■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

どのようなカリキュラムに基づき、何を学ぶことができるか。本学では、教育上の目的を達成するために体系的な教育課程を編成【教育課程編成・実施の方針】しています。また、その学修成果を重視し、幅広い学びを保証するため【学位授与の方針】を定めています。

### ●経営学部

基本方針：

経営学部では、自ら考え、判断し、行動できる力、すなわち社会人として活躍できる力を身に付け、地域を元気にするために活動できる人材の育成を行います。このことから、経営学部では次のようなカリキュラムを編成し、学生が目的達成に取り組める学修環境を提供します。

1. 広範で多様な経営学の基本的知識や専門的知識の修得と実践的な考え方を養成するために、全学共通科目と専門科目を設けています。専門科目には専門共通科目と専門コース科目があります。専門共通科目は、経営学を学ぶ上で必須の基礎的知識と技能を修得するための科目群です。専門コース科目は、各自の個性と目標に応じて、体系的に専門領域を学修するために2年次から選択できる履修コース毎に設けられた科目群です。履修コースには、企業経営コース、会計コース、経営情報コース、そして、スポーツ経営コースの4コースがあります。
2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、その問題を解決するためのコミュニケーション能力やリーダーシップなどの諸能力を養成します。そのため、多くの少人数授業を設置し、小グループ毎に情報収集・討議と発表を行うアクティブ・ラーニングを実施しています。
3. 簿記検定、販売士検定、そして、経営学検定などの社会で役立つ資格取得のための科目を設置するとともに、積極的にボランティア活動などの社会での活動に参加することを奨励しています。
4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動を身に付けるために1年生から4年生まで、ゼミを中心とする個別指導や多くの演習形式での少人数教育を実施しています。
5. 地域の活性化や地域社会への貢献のために必要な能力を理解し修得するために、地域の企業を自ら調査・分析する研究を行なう授業、実際に地域企業を対象とした企業観察やインターンシップなどの実習を実施しています。

### ●発達科学部

発達科学部は、乳幼児期から学童期における子どもの健全な成長・発達の姿を究明し、個々の子どもに応じた望ましい成長・発達を支援するための専門的知識と技能および実践的能力が身に付くように以下の4つの理念に基づいてカリキュラムを構成しています。

1. 子育てに関する基礎的総合的カリキュラムとして「子育て支援に関する基礎科目」を

カリキュラム全体の筆頭に置いています。

2. 子育てに関する総合力を育成するとともに、現代の多様な教育・保育ニーズに対応するため、専門分野別の基礎力を形成するカリキュラムとして次の科目を配置しています。①「子どもの心の育ちを支える科目」②「子どもの体の育ちを支える科目」③「子どもの知性の発達を促す科目」④「特別な支援を必要とする子育てを支える科目」⑤「子どもの音楽教育に関する科目」
3. 教育・保育の実践力・研究能力の向上を実現するカリキュラムとして豊富な教育実習・保育実習を行います。
4. 教育・保育に関する研究能力を涵養するカリキュラムとしての児童学研究法やゼミナールの充実には、特に力を入れています。

## ■入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、自らの可能性に向かって、失敗を恐れることなく果敢に挑戦しようとする学生の入学を期待しています。本学が求める具体的な学生像【入学者受入れの方針】は次のとおりです。

### ●経営学部

基本方針：

経営学部では、自ら考え、判断し、行動できる力、すなわち社会人として活躍できる力を身に付け、地域を元気にするために活動できる人材を育成しています。このために設置した全学共通科目と専門科目の体系的な履修を条件として、学士（経営学）を授与します。学位授与に至るまでに修得すべき資質・能力は次の通りです。

1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができること
2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組めること
3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできること  
自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができること
4. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できること

### ●発達科学部

小学校・幼稚園・特別支援学校の教員、保育士などに求められる子どもを愛する心があり、教育や保育に対する情熱と意欲を持ち、明るく誠実で、思いやりをもって積極的に行動し、子どものために常に自分を磨き続けることのできる人の入学を期待しています。

## ■卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の教育課程において厳格な成績評価のもと、卒業要件を満たし、学科が示す以下の知識や能力等を身につけた学生に対して卒業を認め、短期大学士の学位を授与します。

■卒業要件:2年以上（4年以内）在学し、学則に規定する卒業に必要な単位（「必修科目」を含めて62単位以上（全学共通科目10単位以上、専門科目52単位以上））を修得する。

■成績評価:評価は秀・優・良・可・不可の5段階とし、秀・優・良・可の場合に単位を認定する。

## ●保育学科

保育学科のめざす保育者像（教育目標）の具体的到達目標として掲げた保育者としての資質能力（「職業使命感と倫理観」「豊かな人間性」「専門的知識と思考力」「保育実践力」）を身に付けた学生に卒業を認め、短期大学士（保育学）の学位を授与します。

## ●秘書科

職業人としての専門知識・技能や基礎的能力（高い倫理観、情報収集・分析力、問題発見・解決力、コミュニケーション能力等）を有し、社会人としての幅広い教養や豊かな人間性を身に付けた学生に卒業を認め、短期大学士（秘書）の学位を授与します。

## ■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学教育目標の実現のために、全学生に対して共通に開講される「全学共通科目」と、各学科の「専門科目」を編成して、各学科が示す方針の実現をめざします。

## ●保育学科

学科の目的および保育学科のめざす保育者像（教育目標）を達成するためのカリキュラムを、次の3つの理念に基づき構成しています。

1. 建学の精神にある「理論と実践との接点を開拓する大学」の実現をめざします。
2. 「実践的指導力の総合的涵養」を中軸に据え、「保育・教育の本質と目的を理解するための科目」「保育・教育の対象を理解するための科目」「保育・教育の内容と方法に関する科目」「保育実習・教育実習」の科目群と「その他」の専門科目群および全学共通科目を系統的構造的に配列し、効率的効果的な教育を実現します。
3. 研究室制度を中心とした指導体制によって、持続的に研鑽し続ける保育者としての資質を高めます。

## ●秘書科

秘書科では、職業人、社会人として必要な能力や態度を育成するために、次のような方針でカリキュラムを編成しています。

1. 豊かな人格と専門能力を養うために、幅広い教養を習得するための全学共通科目、ビジネスの基本知識やマナーを身に付けるための共通専門科目、職業人としての高度な専門知識や技能を身に付けるためのコース別専門科目をバランスよく配置し、理論と実践を体系的に学べるよう配慮しています。
2. 個々の学生の将来設計に沿った専門知識を身に付けるために、①簿記やパソコンなどのビジネススキルと、接客や電話対応などの実践的なビジネスマナーを兼ね備え、将来、銀行や一般企業の事務職として活躍できる人材を育成する「ビジネス秘書コース」、②医学・薬学の専門知識と、診療報酬請求事務や医事コンピュータの操作方法などの医療事務に関する実務能力を兼ね備え、将来、医療事務スタッフとして活躍できる人材を育成する「医療事務コース」、③企画やマーケティングなどの流通・販売に関する高度な専門知識と、販売技術や顧客対応などの実践的な運営能力を兼ね備え、将来、サービス産業の最前線で活躍できる人材を育成する「サービス実務コース」の3つのコースを設置し、各コースの目標を達成するための科目を設けています。
3. 各コースに目標とする検定を設定し、1年次前期から集中的な指導を行い、就職活動を見据え、1年次の終わりまでに多くの検定を取得し、実務的な専門知識や技能を身に付けます。また、コース担当教員による少人数の研究室制度を設け、1年次から演習を積んで人間性や実践力を高め、就職に結び付けます。
4. 地域との連携・交流を通して学生の人間の成長を支援する科目を設け、ボランティア活動をはじめとする社会貢献活動も行えるようにしています。

## ■入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学の建学の精神に共感し、本学での学修を通して幅広い知識や技能のみならず、豊かな人間性への強い意欲を持つ人を受け入れます。

## ●保育学科

子どもを愛し誠実で常に相手の立場に立って考え行動できる人、基礎的な学力に加え、常識をわきまえ、礼儀正しく、明るい態度でコミュニケーションをきちんととることができる人の入学を期待しています。

## ●秘書科

基礎的な学力を有し、ビジネスや医療事務、サービスに関する専門知識や実務能力を身に付けたい人、社会人としての基本的なマナーや品位を身に付けたい人、そして、目標に向かって前向きに努力することができる人の入学を期待しています。